



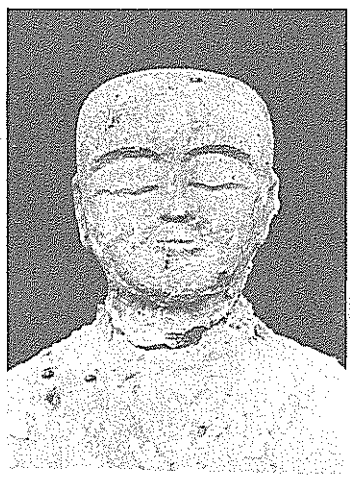
# 広報 なんこく



地蔵尊は私たちが最も心安く接することのできる信仰の対象である。日本には昔から夭折した子どもが、賽の河原で青鬼赤鬼に苛められた時、地蔵菩薩の袖にすがって助けを求めたという俗説から幼児の死後、地蔵尊の石像を建て冥福を祈った風習がある。市内にも錫杖をつき宝珠をもった地蔵尊、小祠の中にひっそり納められた石仏があちこちに見うけられる。江戸後期からあるこの野の仏たちは道祖神の役目もしたことであろう。路傍にある石仏には供養と、厄除け、病気の治癒、幸福の招来等をこめて造られた先人の願いが秘められている。

——とじておくと便利です——

史跡・文化財  
めぐり⑱  
(野の仏)



11/15 1976 No.230  
編集・発行／南国市広報委員会

……市内のあちこちで野仏を拾ってみました。……